

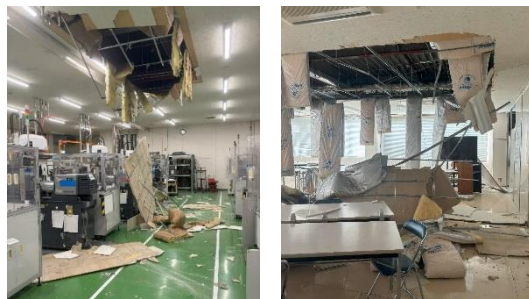
なりわい再建支援補助金の活用事例

株式会社 白山（石川工場）（石川県羽咋郡志賀町）

<補助金活用のポイント>なりわい再建支援補助金の活用により早期事業再開を実現



事業所（石川工場）



被災時（左：工場棟、右：食堂）



修繕後（左：工場棟、右：食堂）

会社概要

- 住所 石川県羽咋郡志賀町若葉台47-11
- 連絡先 0768-38-1233
- 代表 米川 達也
- 事業内容 情報通信機械器具製造業
- 自社のPRポイント
創業当初は保安器の製造に始まり、光通信の発展に伴い地道に開発を重ね、今では主力製品の「MTフェルール」が世界シェアNo.2を達成しています。

被災時及び復旧後の状況

- 令和6年能登半島地震により工場棟や食堂における天井や窓ガラスの崩落、空調の損傷など、MTフェルールの生産拠点工場の大部分が損壊しました。
- 発災直後に工場の被災状況と社員の安否確認を実施しました。1月上旬には建設会社が修繕作業を開始し、修繕状況に伴い順次生産ラインを再開させ、3月下旬には修繕完了、完全復旧となりました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 補助金は1月下旬の説明会を聴講し活用を検討しました。遡及適用により、被災直後から着手していた復旧計画をそのまま進めることができたため、2月に申請、3月に交付決定を受け、4月には復旧事業完了となりました。
- 申請書類については、金沢事業者支援センターにて相談対応していただき不明点を解消しながら必要書類を集め、相談窓口にて申請書類のチェックをしてもらい提出に至りました。

事業者からのメッセージ

- 被災により当社が供給不能に陥ることで一番困るのはお客様です。BCPに従い代替戦略をとることで最低限必要な生産機能を維持しながら復旧工事を行ったこと、社員が一丸となり被災状況の把握と必要な措置を講じたことにより、短い期間で完全復旧し、被害を最小限にとどめられたと考えます。早期復旧に対する支援をいただけたこと大変助かりました。